

武蔵野大学ボランティアセンター

ボランティアに関する情報を発信しています！
Topics

1. 武蔵野大学ボランティアセンター 2024企画
「災害ボランティア」をテーマに講演を企画しています。
2. ドキュメンタリー映画「つなかん」無料上映のご案内
有明Cにて上程予定です！
3. 【募集】ボラセン企画 運営スタッフ募集しています！
4. 学生ボランティア募集中！

本学センター登録団体より募集のあるボランティアを紹介しています。



ボラセン通信

1.武蔵野大学ボランティアセンター 2024企画

ボランティアセンター企画として、
「災害ボランティア」をテーマに講演を企画しています！

テーマ：災害ボランティア 第一弾

「—2011.3.11から2024.1.1能登へ—」

二つの震災から考える「災害ボランティア」について、
本学学生の体験を通して、学生の皆さんへ伝えたい思いを講演して頂きます。
災害ボランティアを考えるきっかけに、ちょっとお話ししてみませんか？

開催日時：令和6年11月17日(日) (黎明祭同日開催)

会場：有明キャンパス 5号館402教室

時間：13:00～14:30

TIMETABLE

13:00 学生講演「5歳だった私はいま」-2011東日本大震災-

教育学部 幼児教育学科 1年 岩槻 佳桜

13:30 学生講演「19歳の自分から見た今の景色と、これからの日本」-2024能登半島地震-

アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科 2年 竹内 啓介

14:00 対談：復興支援とは何か 東日本大震災×能登半島地震

14:30 終了



ただ、「何かしたい」
それだけで動いた。



「もしもあの時」を
何度も思う。



大学生の自分に
何ができるのか。

あの時の支援を、
十年後の未来を見せたい。



アントレプレナーシップ学部
アントレプレナーシップ学科
2年 竹内 啓介



教育学部 幼児教育学科
1年 岩槻 佳桜



復興って、なんだろう？
日常って、なんだろう？
そんな当たり前を考えた。



何するの？



災害ボランティアって

武蔵野大学ボランティアセンター2024企画

災害ボランティア 第一弾 学生講演×対談
「-2011.3.11から2024.1.1能登へ-」

11.17 13:00~14:30
SUN
5号館402教室・有明C

11.16.Sat-17.Sun 5号館404教室
ドキュメンタリー映画「ただいま、つなかん」無料上映

画像出典：東北地方整備局震災伝承館、石川県ホームページ

災害ボランティア 第一弾 学生講演×対談

「—2011.3.11から2024.1.1能登へ—」



アントレプレナーシップ学部
アントレプレナーシップ学科
2年 竹内 啓介

Profile

中学2年生の時、大阪北部地震を経験。

その時のパニックが記憶に残り、

今は震災での被害者を減らすため活動中。

能登では1月12日から月に一度はボランティアとして炊き出し、

家財出し、サロン活動などを行っている。

7月に開催されたあばれ祭りに参加。

被災地に多くの人が集まり、多くの人笑顔を見て、

もっと能登を盛り上げたいと思い活動中。

Profile

5歳の時に東日本大震災を経験し、

中学時代より気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館で

語り部活動を行っている。

自らが受けた支援への感謝を行動で表したいとの思いから

復興支援、講演活動を行っている。

大学入学後も語り部活動と

能登半島地震への復興支援活動に従事している。



教育学部 幼児教育学科

1年 岩槻 佳桜

TIMETABLE

13:00 学生講演「5歳だった私はいま」-2011東日本大震災-

教育学部 幼児教育学科 1年 岩槻 佳桜

13:30 学生講演「19歳の自分から見た今の景色と、これからの日本」-2024能登半島地震-

アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科 2年 竹内 啓介

14:00 対談：復興支援とは何か 東日本大震災×能登半島地震

14:30 終了

【学生講演 Zoom配信】

<https://zoom.us/j/95927851365>

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

11月16日(土)・17日(日) 有明キャンパス 5号館404教室
映画上映 ドキュメンタリー映画「ただいま、つなかん」無料上映会

製作年：2023年 上映時間：115分 製作会社：文化工房

ジャンル：ドキュメンタリー監督：風間研一 語り：渡辺謙 音楽：岡本優子

①10:30～ ②12:45～ ③15:00～ ※17日は①③上映のみ

2.ドキュメンタリー映画「つなかん」無料上映のご案内

ただいま、つなかん

宮城県、三陸リアス海岸の入江に佇む民宿「唐桑御殿つなかん」

東日本大震災で被災し、海難事故で大きな喪失を抱えた女将の一代さんと、震災当時に学生ボランティアだった若き移住者や仲間たちが、ともに歩み積み重ねてきた10年以上にわたる歳月—

そこには、これまでもこれからも変わらない《人と人が思い合い、ともに生きる姿》がありました。

監督は、当時テレビ報道の現場にいた現役ディレクターの風間研一（本作初監督）。語りを菅野夫妻と親交があり、現在も気仙沼に通い続ける俳優の渡辺謙が担当し、音楽を気仙沼出身・仙台在住で、みなと気仙沼大使も務めるジャズピアニスト・岡本優子が書き下ろした。また、糸井重里や伊達みきお（サンドウィッチマン）など、つなかんや気仙沼にゆかりの深い人々も登場。

全国ニュースで放送され多くの反響を呼んだ一代さんの物語に新たなシーンを加えた待望の映画化。

上映日時：令和6年11月16日(土)・17日(日)（黎明祭同日開催）

①10：30～ ②12：45～ ③15：00～

※17日(日)は①③回のみ上映

会場：有明キャンパス 5号館404教室

予告動画：[映画「ただいま、つなかん」公式サイト](#)

たくさんのご来場お待ちしております！



宮城県気仙沼市唐桑半島
 3・11からコロナ禍まで
 たくさん笑って たくさん泣いて
 こころを紡ぐ 民宿「つなかん」の物語

たな たないま つな かなん



語り: 渡辺 謙 | 監督: 風間研一 | 音楽: 岡本優子

ゼネラルプロデューサー: 齋藤隆平 | プロデューサー: 柴崎木綿子 | 編集: 井上秀明
 配給宣伝協力: ウッキー・プロダクション | 宣伝協力: リガード | 製作著作: 文化工房 ©2023 bunkakobo
 2023年 | 115分 | 16:9 | カラー | DCP | 日本 | ドキュメンタリー
<https://tuna-kan.com>

*文部科学省選定(青年向き・成人向き)

後援: 宮城県 | 気仙沼市 | 気仙沼商工会議所 | 気仙沼市観光協会 | 仙台国際空港



3.武蔵野大学ボランティアセンター 2024企画

運営スタッフ募集中しています！



日時：令和6年11月16日(土)・17日(日)
(黎明祭同日開催)

会場：有明キャンパス

時間：10:00～17:00 (休憩1時間) 6時間勤務

時給：1,170円

交通費：原則なし。

ただし、武蔵野C所属学生は交通費実費支給(日額3,960円上限)

内容：ボランティアセンター企画(学生講演、映画上映)の
運営サポートスタッフ。

来場者の誘導や映画上映機器(PC)操作等の簡単な作業を
お願いします。

募集人数：2名程度

条件：①本企画の趣旨を理解し、運営サポートに取り組める方。

②2日間連続勤務できる方を優先採用いたします。

応募締切：令和6年10月31日(木)ㄨ

応募フォーム





4.学生ボランティア募集中！その①

メーリングリストDM案内が届きました！



軽井沢国際カーリング2024 運営ボランティア

12.13^金 - 15^日

風越公園軽井沢アイスパーク(長野県軽井沢町)

◆団体名：
日本財団ボランティアセンター

◆先方応募締切：10月30日(水)

◆応募はホームページよりご確認の上、各自ご応募ください。

【団体から学生の皆様へ】

カーリング国際大会の雰囲気を味わってみたい方はぜひご応募ください！

《ボランティア内容》

- ・受付、来場者チケット確認
- ・物販サポート
- ・来場者案内 など



4.学生ボランティア募集中！その②

メールリングリストDM案内が届きました！

第21回

日本デフ陸上競技選手権大会

運営ボランティア

11月30日(土)・12月1日(日)

8:00～17:00



駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場(東京都世田谷区)

◆団体名：

日本財団ボランティアセンター

◆先方応募締切：10月31日(木)

◆応募はホームページよりご確認の上、各自ご応募ください。

【団体から学生の皆様へ】

陸上競技、デフスポーツやスポーツ大会に興味のある方、手話の経験に限らず、大会を支えていただくボランティアを募集します。来年の東京開催のデフリンピックに向けて、海外から集まる選手と一緒に盛り上げていきましょう！



4.学生ボランティア募集中！その③

メールリングリストDM案内が届きました！



福島県いわき市

◆団体名：
日本財団ボランティアセンター

◆先方応募締切：11月6日(水)

◆応募はホームページよりご確認の上、各自ご応募ください。

【団体から学生の皆様へ】

東日本大震災で被害を受けた福島県。大きな被害を受けながらも、住民一人ひとりが復興に向けて力を注いできました。震災から10年以上が経過した今だからこそ、震災を忘れないように当時を振り返るとともに、ボランティア活動を通じて福島「今」を学びます。

P.S.

これまでのボラセン通信は
こちらからご確認いただけます。

【武蔵野大学ホームページ】

問合せ先：武蔵野大学ボランティアセンター
メール：v_center@musashino-u.ac.jp

